

共同利用・共同研究成果発表会

日時：平成 25 年 2 月 28 日（木）13:30～17:15
～平成 25 年 3 月 1 日（金）9:30～12:00
会場：高知大学 海洋コア総合研究センター 2 階セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

2 月 28 日（木）

13:30-13:40 開会挨拶

13:40-14:25（座長：岡村 慶）

O-01 「Geochemical cycling of phosphorus in the Arctic Ocean during 50～45 Ma:

Results from sequential extraction analysis of sediments recovered by IODP Expedition 302」橋本 俊太（東邦大）ほか

O-02 「過去 1 万 8 千年間の新潟沖の水温復元のための酸素同位体比層序構築」小平 智弘（富山大）ほか

O-03 「鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾の詳細観察による熱水性水酸化鉄チムニの構造解析」倉富 隆（九州大）ほか

14:25-16:15 ポスター発表：概要紹介、引き続きコアタイム

P-01 「西オーストラリア・ピルバラ地域の黒色頁岩中の硫黄の存在形態別同位体分析から明らかにする約 32 億年前の海洋環境」小林 友里（東邦大）ほか

P-02 「約 32 億年前の海洋環境の多様性 ～南アフリカ・バーバートン帯のマペペ層およびチムニ層の綿状鉄鉱層の希土類元素組成からの制約～」矢作 智隆（東邦大）ほか

P-03 「約 32 億年前の DXCL 黒色頁岩中の黄鉄鉱の NanoSIMS 硫黄同位体分析」三木 翼（九州大）ほか

P-04 「ニュージーランド遠洋堆積物中の P/T 境界層における環境変動解析」堀 利栄（愛媛大）ほか

P-05 「暁新世—中期始新世の深層水循環の復元と Nuttallides truempyi のサイズ変化」村上 優佳（東北大）ほか

P-06 「IODP U1344 サイトにおける底生有孔虫安定同位体比変化」岡崎 裕典（九州大）

P-07 「東地中海クレタ島沖の海底塩湖水湖堆積物（KH06-04 航海）の硫黄の地球化学：形態別存在量と安定同位体組成から探る生物地球化学循環」南 宏明（東邦大）ほか

P-08 「北西オーストラリア Bonaparte 湾堆積物による、最終氷期最盛期開始時の古環境復元～最終氷期最盛期開始時の海水準復元に向けて～」石輪 健樹（東京大）ほか

P-09 「高温磁気測定による北大西洋海底堆積物コア（IODP Site U1314）の磁性鉄物の分析」大野 正夫（九州大）ほか

P-10 「琵琶湖北湖第一湖盆、極表層堆積物の磁気特性の地域差と季節変動」石川 尚人（京都大）

P-11 「IODP Exp. 343 (Japan Trench Fast Drilling Project) で採取した試料の岩石磁気記録」三島 稔明（大阪市立大）ほか

P-12 「東北地方太平洋沖地震・津波に伴うイベント堆積物」新井 和乃（千葉大）ほか

P-13 「薩摩硫黄島・長浜湾の海水変化の長期観測（2012）」養和 雄人（九州大）ほか

P-14 「反射法探査から見てきた鬼界カルデラ 7300 BP アカホヤ噴火に前後して起こった沈降と陥没」池上 郁彦（九州大）ほか

P-15 「Pb 同位体比の全国地球化学図作成に向けての課題」城森 由佳（名古屋大）ほか

16:15-17:15（座長：池原 実）

O-04 「31 億年前のクリバービル綿状鉄鉱層：DXCL2 掘削報告 2」清川 昌一（九州大）ほか

O-05 「南アフリカ・バーバートン帯・フィグツリー層における 32 億年前の海洋底環境復元：130m の連続露頭における層序、帯磁率および炭素同位体の解析結果」寺司 周平（九州大）ほか

O-06 「西オーストラリア・ピルバラ地域におけるクリバービル層群の堆積年代」相原 悠平（九州大）ほか

O-07 「Nitrogen isotope geochemistry of 3.2 Ga old black shales recovered by DXCL1 drilling project, northwestern Pilbara, Western Australia」山口 耕生（東邦大, NASA）ほか

3 月 1 日（金）

9:30-10:30（座長：村山 雅史）

O-08 「浮遊性有孔虫に基づく更新世の南大西洋亜南極前線移動にともなう海洋構造変遷の解明」山崎 誠（秋田大）ほか

O-09 「南西太平洋熱帯海域（北フィジー海盆）の古海洋学的研究」河瀧 俊吾（横浜国立大）ほか

O-10 「シーケンス境界形成と酸素同位体ステージ

—IODP ニュージーランド沖陸棚 - 斜面掘削試料からの考察—」保柳 康一（信州大）ほか

O-11 「地磁気と気候のリンク」兵頭 政幸（神戸大）ほか

10:50-11:50（座長：小玉 一人）

O-12 「IODP ルイビル海山列掘削試料を用いた白亜紀後期～古第三紀前期の古地磁気強度推定」山崎 俊嗣（東京大）ほか

O-13 「考古地磁気試料を用いた古地磁気強度測定による完新世地球磁場強度の復元」畠山 唯達（岡山理科大）ほか

O-14 「ジルコン単結晶を用いた古地磁気強度実験の予察的研究」佐藤 雅彦（九州大）ほか

O-15 「IODP Exp.322/333 で得られた海底玄武岩試料の岩石磁気」小田 啓邦（産総研）

11:50-12:00 閉会挨拶

* 共同利用・共同研究は、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。

事務局：高知大学 海洋コア総合研究センター TEL: 088-864-6712
URL: <http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/>

